

第2号

2012年10月15日 発行

(平成24年)

せいしょうの かい なかちょうさぎょうしょ かいほう  
青松の会 中町作業所 会報



## 「障害福祉課長に着任しました」

目黒区健康福祉部障害福祉課長 篠崎省三

この4月に目黒区健康福祉部障害福祉課長に着任しました、篠崎省三と申します。

昨年は目黒区議会事務局次長、その前は教育委員会事務局教育改革推進課長の任にあたってまいりましたが、実は以前に障害福祉行政に従事していたことがあります。

平成14年4月、支援費制度準備担当として障害福祉課に配属され、平成16年度までの3年間区の支援費制度の円滑な運営のために残業ばかりの毎日でした。

あれから8年。久しぶりに戻ってみると、まさに玉手箱を開けた浦島太郎という感じです。障害者自立支援法の下に身体・知的・精神の3障害を対象とするサービス体系が整備され、さらに障害者自立支援法の見直し、いわゆる「整備法」が本年4月から施行されたと思いきや、6月には障害者総合支援法が公布されました。そうした慌しい動きの中で、「しゅうびい(就労継続支援B型)」って何?とか、一からお勉強の毎日です。気持ちを新たに、意欲と情熱を持って、区の障害福祉行政を進めてまいりたいと思いますので、皆様どうぞよろしく願いいたします。

さて、最近の区における知的障害者に関わる動きについて、紙面をお借りして二つご紹介させていただきます。まず、一つ目は、大岡山一丁目の区有地における知的障害者グループホーム・ケアホームの整備です。区内で知的障害者の福祉に関する事業に実績のある社会福祉法人、または特定非営利活動法人の中から、整備・運営する法人を募集しています。早ければ来年の9月、遅くとも再来年の3月までに事業が開始される予定です。どのような施設ができるか、楽しみにしています。

二つ目は、本年10月1日から施行された「障害者虐待防止法」についてです。区の障害福祉課が「目黒区障害者虐待防止センター」としての機能を果たし、虐待の防止に向けた取組を進めてまいります。皆様にもご協力をお願いいたします。

障害をもっていても、生まれ育った地域で、自立した日常生活、社会生活を営み、安心して幸せに暮らすことができる社会の実現が求められています。そのためには、障害者一人ひとりの日常生活等の支援の充実が欠かせません。

しかしながら、障害者の充実、行政だけで実現できるものではありません。今後も青松の会中町作業所の皆様のお力をお借りしながら、共に区の障害福祉の充実・発展に努力してまいりたいと考えておりますので、皆様どうぞよろしく願い申し上げます。

## ☆☆☆☆☆ 活動報告 ☆☆☆☆☆

### 《 山梨バスハイク 》

新年度を迎え、煩雑な事務もひと段落した6月22日（金）に、利用者さんたち待望の「バスハイク」を実施しました。

当日はあいにくの雨に降られての出発になりましたが、途中の渋滞を抜け笹子トンネルを過ぎた途端に初夏の日差しで歓迎されました。

今回は、佐原副理事長もカメラマンとして参加していただき、熟したサクランボに舌鼓を打っている姿を撮影していただきました。脚立に上って木の実を採り、みんなに配っていた方もいました。

お昼には、山梨名物の「ほうとう御膳」をいただき、信玄餅で有名な桔梗屋さんの工場見学まで出来ました。

山の清涼な風を感じながらのとても楽しい時間を過ごせたと思います。 【熊谷】



石和の武田信玄公の銅像の前で

### 《 ポリショイサーカス 》

8月10日（金）、東京善意銀行からご招待していただき、有明コロシアムで行われたポリショイサーカスに皆で鑑賞してきました。

ゾウや犬、熊や豹など沢山の動物が登場し、楽しみ、和ませてもらったと思えば、ジャグリングや空中ブランコなど息を飲むようなパフォーマンスもあり、あっという間の2時間が過ぎてしまいました。

昼食は、ホテルの20階という見晴らしのいいレストランで各々が選んだ中華料理をお腹いっぱい食べるなど楽しい時間を皆で一緒に過ごすことが出来ました。

【中村】

### 《 誕生会 》

7月22日（金）誕生会と歓迎会をかねて、利用者さん、理事長、職員、全員でエプソン品川（水族館）を見学、この後、会食をしました。

水族館では、大きいエイ等が豪快に悠々と泳ぐのに見とれ、また、イルカやアシカの曲芸に歓声をあげました。

会食では、初めて食べたソバに「おいしかった」「寿司はもっと食べたかった」等楽しい一日を満喫しました。

中町作業所に新しく加わった利用者さんも「楽しかった。また行きたい」とこの行事を通して、より親密になれたと思います。

【大草】



ポリショイサーカス会場前で

「青松の会中町作業所に寄せて」  
ミチル会会長 三浦満喜美

NPO法人「青松の会」が発足して2年が経とうとしています。故松沢夕衛様が青鳥卒業生で就労困難な人達の為の働き場として、中央区の工場の一画から始められたミチル会作業所が法人化され中町作業所となった事、本当にうれしく思っています。

20数年前、松沢様がミチル会の会長の時「ミチル会」の法人化に向けて努力をなさっていた事を思い出します。当時は非常に条件が厳しく実現する事が出来ませんでした。

私が会長になりましてからいつもいつも心の中に思っていた事が実現し、本当にうれしく思っています。金田理事長というすばらしい方に理事長職をお引き受けいただきホッとしているといっているのでしょうか。

小規模作業所から法人になりますと経営も安定化し、出来る事も多くなります。通所者の皆さんが、ここに通える事がとても楽しい、うれしい、と言ってくれるすばらしい作業所になってくださる事を願っています。

《 委託販売 》

中町作業所さんの製品をはじめ福祉施設の商品を販売させて頂いている「さんまるしえ Sun Marche」です。職員の方は週に何度も当店に足を運んで下さり、どんな商品が人気なのか、お客様の意見を反映させる商品作りを心がけて下さっています。

留め金がマグネットになっているネックレス、目の不自由な方にも自分のものとわかるようにと出来上がった傘の持ち手のカバー、繊細なビーズを使って丈夫なバッグチャームがほしいなど、あったらいいな・・・を形にしてくれるのが中町作業所さんです。

そしてかわいいマスコットが登場したり、ステンシルやビーズにみる色使いなど、遊び心いっぱい新商品を心待ちにしているお客様も多数いらっしゃいます。

職員の方々と利用者さんのアイディアと頑張りが詰まった商品を、これからも心を込めて丁寧に販売していきたいと思っています。 【さんまるしえ 田中】

ホームページ開設について

下記のURLにて、青松の会中町作業所のホームページを開設しました。  
どうぞご覧下さい。

<http://www.ac.auone-net.jp/~nakachou/>  
又は、「中町作業所」で「検索」してご覧下さい。

・・・・・・・・ 青松の会中町作業所 職員紹介 ・・・・・・・・

〈施設長〉熊谷重信 〈主任〉大草勝子 〈生活主任〉中村隆幸 〈事務主任〉砂田亜紀  
〈支援員〉小川桂子 ・ 藤井光枝 ・ 前田友江 ・ 黒川広 ・ 石原道 ・ 織田晃代



## 自主製品

- 《 ステンシルによる布巾、ハンカチの製作 》  
《 木工加工（キーホルダー・クリスマスツリー） 》  
《 ビーズワーク（ストラップ・ネックレス・プレスレット・携帯ピアス・バッグチャーム等） 》  
《 季節の置物作り 》 《 ろうけつ染め、しぼり染めのエコバッグ 》



クリスマスツリー



季節の置物（お正月）



エコバッグ



携帯ピアス

### 商品購入、寄付 御礼

自主生産品ご購入ありがとうございました。  
城南信用金庫 目黒支店、碑文谷支店、自由ヶ丘支店、碑衾支店 様  
作業所活動備品のご寄付ありがとうございました。  
岩崎裕子様、いいあい様、エコライフめぐろ推進協会様

### 編集後記

目黒区篠崎課長様、ミチル会三浦会長様、さんまるしえ 田中様、ご寄稿ありがとうございました。  
法人化された青松の会中町作業所ですが、活動範囲がどんどん広がっていくと思います。できるだけご案内、ご報告させていただくよう努力いたします。  
読後のご意見ご要望をお待ちしています。 (B)

### 特定非営利活動法人青松の会中町作業所

〒153-0065 東京都目黒区中町1-25-22

TEL & FAX : 03-3792-4465

E-mail : npo.seishounokai-nakachou@ae.auone-net.jp

発行人 熊谷重信

賛助会員を募集しております。一口（1,000円）以上、どうぞご協力のほどお願い申し上げます。